

# 避<sup>【ひなん】</sup>難

安心・安全に避難するための心得!!  
安全に避難する!



## 情報伝達

遊佐町における災害情報の伝達方法、ご自分で情報を得る方法を確認し、積極的に情報収集をお願いします。

### 〈 遊佐町の情報伝達方法 〉

- ① **防災行政無線**  
屋外スピーカー、避難所等に設置されている子局、各集落区长宅やポンプ車庫設置の戸別受信を使用して、サイレンと音声でお知らせします。
- ② **緊急地震速報・エリアメール**  
遊佐町内において、お持ちの携帯電話等に、警告音と共に電子メールを一斉配信してお知らせします。
- ③ **町ホームページ**  
注意喚起情報、避難等の災害対応情報を町ホームページに掲載します。  
町ホームページアドレス:  
<http://www.town.yuza.yamagata.jp/>  
※トップ画面をご覧ください。
- ④ **消防団による広報**  
状況に応じて各地区消防団が消防車両で広報します。

### 〈 ご自分で情報を得る方法 〉

- ① **テレビ・ラジオ**  
ニュースや地上デジタル放送のdボタンで、気象庁からの情報や町の災害対応情報等の取得が可能です。
- ② **インターネット**  
町ホームページに、各災害情報を取得できる国・県の防災情報サイトへのリンク先を掲載しています。また、民間業者のサイト・アプリを活用して、閲覧や事前登録によるメール配信での情報取得も可能です。  
【防災情報サイト一覧】  
[http://www.town.yuza.yamagata.jp/ou/somu/kikikanri/bousai\\_link.html](http://www.town.yuza.yamagata.jp/ou/somu/kikikanri/bousai_link.html)  
【鳥海山火山情報サイト一覧】  
[http://www.town.yuza.yamagata.jp/ou/somu/kikikanri/volcano\\_info.html](http://www.town.yuza.yamagata.jp/ou/somu/kikikanri/volcano_info.html)  
※両一覧とも、町ホームページトップ画面の「防災情報」から閲覧できます。

## 災害発生! 命を守るには避難の判断とタイミングが重要!!

災害が起きた場合、避難の判断によって生死が分かれることがあります。テレビやラジオ、行政などからの情報、自分の目と耳で確かめた状況をもとに、避難の判断とタイミングを決めましょう。判断を人任せにせず、「まだ大丈夫」「誰も避難していないし…」という誤った自己判断はやめましょう。

現在地の状況や情報(被災状況・避難指示など)を確認

### 〈 避難に関する情報 〉

#### 避難準備・高齢者等避難開始

避難に時間を要する人(高齢者、乳幼児等)と、その支援者は避難を開始しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。

#### 避難勧告

速やかに避難場所へ避難しましょう。

※外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

#### 避難指示(緊急)

まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難しましょう。



#### 風水害(洪水・土砂災害・高潮)、火山噴火などの場合

危険度の切迫度に応じて、上記の「避難に関する情報」を町が発令



#### 津波の場合

津波の場合、津波到達まで時間的猶予がなく、避難を強く呼びかけるため、「避難指示」を発令



#### 避難対象地域や避難場所を確認し、避難

町から発令される避難情報を確認して避難場所・避難所のほか、危険の及ばない場所(知人宅など)へ避難



#### 「より遠く」、 「より高い場所」へ避難

津波浸水予測地域からの退避、又は津波避難ビルなどの高い場所へ避難

### 自宅に被害があり、生活できない場合



#### 避難所に避難

災害によって住居を失ったり、避難を余儀なくされた方たちが「避難生活を行う所」です。



避難所での生活は?

- 体育館での共同生活になります。
- お風呂はありません。
- ベッド・ソファーなどはありません。
- 食事(非常食)などの配給は、並んで順番に配られます。

- お年寄り、子ども、女性に配慮し、お互いに助け合いましょう。
- 服用している薬は自分で用意しましょう。
- 備蓄品は最低限しかありませんので、必要なものは自分で用意しましょう。

ルールとマナーをちゃんと守ろうね!

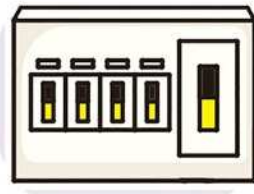


# いざ避難！ 避難するときの注意点って何??



## ガスの元栓を閉める

ガス爆発の危険があるため、ガスの元栓を閉めましょう。



## ブレーカーを落とす

停電しているときでも必ずブレーカーを落としてから避難してください。



## 連絡・メモを残す

安否情報、連絡先などのメモを残しましょう。

ヘルメット、防災頭巾などで頭を保護

持ち出し品はリュックがオススメ

携帯ラジオ、ホイッスルなどがあると便利

軍手や革手袋などで手を保護

靴は底の厚い履きなれたものを



## 避難は徒歩で、2人以上が望ましい

特別な事情を除き、避難は徒歩が原則です。



## 避難時の服装

荷物は少なく、動きやすい服装で



## 指示にしたがう

避難誘導者がいる場合は、指示にしたがいましょう。

# 要配慮者への思いやりを!!

高齢者や障がい者、傷病者、幼児、妊産婦、外国人、旅行者などは避難に時間がかかったり、情報や状況を迅速に把握できない場合があります。日頃から近所の要配慮者に気を配り、災害時には地域で協力しあって支援しましょう。



## 高齢者・傷病者

- 正しい情報を伝える。
- 不安を取り除くように声をかける。
- 手を貸したり、おぶって避難



## 障がい者

- 介助の手助けを
- 耳が不自由な方には、筆談や身振りで対応



## 妊産婦・幼児

- 手荷物を持つ等の手助けを
- 子どもがはぐれたり、ケガをしないよう気にかける。



## 外国人

- 正しい情報を伝える。
- 言葉が通じない場合は身振りや絵で会話を